

### 市議会12月定例会

# 大滝温泉蘇生工事費に一億円を追加

市議会十二月定例会が、十二月七日から十五日間にわたって開かれました。今定例会には「平成元年度一般会計補正予算案」など二十九議案が提出され、同予算案一件が修正可決、二十八件が原案可決されました。また、昭和六十三年年度一般会計等十七会計の決算認定については、次の定例会までの継続審査となりました。

#### 一般会計に

#### 三億七千万円を追加

平成元年度一般会計の歳入と歳出に、それぞれ三億七千八百

二万円を追加して、予算総額は百七十六億千八百七十二万七千円となりました。

#### 歳入

の追加で主なものは、次のとおりです。



#### ▽地方交付税

二億七、二〇〇万円

#### ▽使用料及び手数料

四八八万円

#### ▽国庫負担金

三、二二二万円

#### ▽国庫補助金

△三、六九六万円

#### ▽県補助金

二、三四〇万円

#### ▽繰入金

七〇四万円

#### ▽繰越金

二六一万円

#### ▽諸収入

〇八〇万円

#### ▽市債

四、五七五万円

#### 歳出

の追加で主なものは、次のとおりです。

▽精神薄弱者援護費の扶助費 一、六三七万円

▽寝たきり老人短期保護委託料 三八九万円

▽老人福祉扶助費 一、四四〇万円

▽二井田工業団地専用排水路築造工事費 二、五〇〇万円

▽企業に対する福利厚生施設等助成金 六三三万円

▽橋梁補修工事費 二四五万円

▽側溝改良工事費 三五〇万円

▽土木施設災害復旧工事費 一、二三〇万円

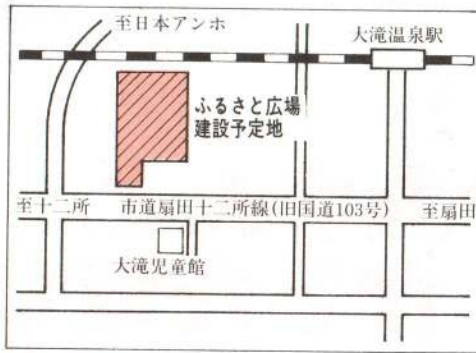
▽農業施設災害復旧工事費 一、九四七万円

▽小学校施設維持補修工事費 三三〇万円

▽長走風穴基本計画委託料 一、二六〇万円

▽大滝温泉蘇生工事費 一億円

ふるさと創生大滝温泉蘇生事業費は、これまで基本設計委託料や実施計画委託料など千四百二十四万三千円の予算額でした。今回の工事費一億円の追加は、「ふるさと広場」の建設に充てるもので、そこには音の鳴る樹・カリヨン(十二個のチャイムで構成、曲を奏る)や人工の滝、案内所、街灯、公衆便所などを配置する計画です。



大滝温泉蘇生事業は今年度だけのものとはせず、ふるさと広場を中心として大滝温泉全体の活性化を図るため、来年度以降も継続して進められます。

#### 固定資産評価審査委員会委員

#### 浅利兵造氏を再任

固定資産評価審査委員会委員の浅利兵造氏(花岡町字神山・七十一歳)の任期が、元年十二月三十一日で満了となったので、その後任人事案件が今定例会に提出され、同氏が再任されました。

#### 市長メモ



No.24

#### 重要文化財指定へ

昨年の暮れ、大館八幡神社宮司の福原さんから大変な朗報が届きました。それは、八幡神社本殿(正八幡、若宮八幡)が国の重要文化財に指定されるかもしれない、ということでした。大館八幡神社は十七世紀ごろに、大館城の鎮守として創建されたものです。桃山期の様式をもつ装飾優美なこの本殿は、江戸初期における佐竹藩の代表的な建造物であることが、昨年度にわたる文化庁の調査で確認されました。そこで福原さんは、文化庁へ重要文化財の指定申請をしたのです。

戊辰の戦火や度重なる大火で大館は歴史的な建造物の多くを失ってしまいました。この本殿が重要文化財の指定を受けることになれば、神社関係者はもちろん、大館市にとっても大変な名誉です。誇りです。また、大館の歴史と文化が大いに重みを増すことにもなります。一日も早く指定を受けることができるようにと願っています。

浅利兵造